

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|-----|--------|-----------|
| ○事業所名 | ゆいまーる | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年8月17日 | | ～ | 令和6年9月30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 46名 | (回答者数) | 24名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年8月17日 | | ～ | 令和6年9月30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) | 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和6年10月30日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | お子さまの興味や関心・意欲を育むイベント活動を取り入れていること。 | 職員間で話し合い、子どもたちがワクワクしたり、やってみたいと思ったりするような活動を考えられています。 実際にお子様や保護者様からのお声や提案も伺いながら、『実現』できるよう検討したり、下見へ行ったりしています。 | イベントに関するアンケート調査もしていきたいと考えています。また、楽しい空間をつくるために職員一人ひとりの個性も活かしながらスキルアップできるよう努めています。 |
| 2 | 安心感をもってお子様にご利用いただけていること。 | 職員や児童同士で交流をもつ時間を大切にしており、人と関わる楽しさや安心感を得られるよう職員が一丸となって努めています。 また、安全面にも留意し、危機管理ができるよう声をかけ合っています。 | 子どもたち一人ひとりの考え方や感じ方を職員が理解して関わりをもつことで、よりお子様が安心してゆいまーるをご利用できると考えています。また課題等についても小まめに共有し、共通理解に努めています。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 児童クラブや児童館など、地域の人との交流の機会が設けられていないこと。 | 以前に、地域の子ども食堂さんからお声かけいただき、交流をもたせていただいた機会もありましたが、情報収集が不十分だったため実施には至りませんでした。 | 地域交流の大切さに関しても職員と学び実施に向けて取り組んでいきます。 |
| 2 | 父母の会の活動支援やペアレントトレーニングなど、保護者様に向けた情報提供の機会が少ないこと。 | 父母の会やペアレントトレーニングに関する知識や理解がまだ十分ではないこともあり、開催・実施まで至っていないのが現状です。 | アンケート調査を活用するなどして、保護者様のお声を聞かせていただく機会をつくり、開催を検討していきたいと考えています。また、職員も研修へ参加し知識や理解を深められるよう情報提供を行っていきます。 |
| 3 | 職員同士の情報共有や、事業所が取り組んでいる計画・訓練についての周知が十分ではないときがあること。 | 話し合いは時間をかけて行っていますが、出席が難しく参加できなかった職員への周知・共有が十分ではなく課題となっています。 | ミーティングノート確認の声かけはもちろんのこと、回覧や報告書の中でも特に重要な所はピックアップし、新しい職員へもすぐに伝えられるようにまとめておくなど対策を考えていきます。 事業所の取り組みに関しても、運営ソフトの『活動記録』やSNS等を通して発信していきたいと考えています。 |